



発行／津山市ごみゼロ新聞編集委員会 TEL／0868-32-2203

石綿（アスベスト）を含有した一部の珪藻土製品に ご注意ください

吸水性に優れることから、近年バスマットやコースター等に使われている珪藻土。昨年11月、この珪藻土が使われた製品の一部について、基準を超えた石綿を含有したものが流通しているということが、問題になりました。対象製品は販売者が回収しますので、ごみとして捨てないようにしましょう。

※対象製品は厚生労働省ホームページの報道発表資料や 販売店のホームページ等で調べられます。

珪藻土って なに？



珪藻土とは、ガラス質の殻を持つ藻の一種である珪藻が長い時間かけて堆積したものです。世界中で産出され、岡山県でも真庭市の蒜山高原に大規模な鉱床があります。

断熱性に優れ、軽量であることなどから、古くから七輪やかまど、レンガや土壁の材料として利用されてきました。近年では、お酒などのろ過材としても使われています。

石綿って なに？



石綿（アスベスト）とは、天然の鉱物の中で、引っ張る力に強く柔軟な性質の繊維状のものが集まってできているものの総称です。加工すると軽い綿（わた）のようなものにでき、石であることから耐火性や耐酸性、耐アルカリ性等が高く、断熱材等として広く使われました。

しかし、非常に軽いため飛散しやすく、体内に取り込まれ肺に入ると分解・排出されず様々な疾患の原因となることから、日本では平成18年以降 0.1 重量%を超える石綿を含有した製品の輸入、製造、使用等は禁止されました。



本来、珪藻土と石綿は全く違うもの。
どうして珪藻土の製品に石綿が混入してしまったの？

今は日本では禁止されているけれど、珪藻土を商品の形に成型する際の混ぜ物の一部として石綿を使っていたことがあるんだよ。

石綿が禁止される前に作られた原料を使って製品をつくったり、石綿の禁止されていない国で製造する際に混ざってしまうと、石綿を含有した製品が流通してしまう可能性があるんだ。



ごみゼロ新聞調査隊が行く

環境とお財布に優しい～ごみの減らし方～

レジ袋が有料化されてもう少しで1年になります。多くの人がマイバッグ持参で買い物をしていますが、ごみ減量や資源節約のため、より一層工夫を心掛けましょう。

1. 繰り返し使えるものを使う (Reuse)

使い捨ては、ごみが増える大きな原因の一つです。マイバッグ以外にも、マイボトルやマイ箸を使うことは、ごみ減量や資源の節約に大変大きな効果があります。



2. 不要なものを買わない (Reduce)

セール品などはついつい買ってしまいがちですが、買い物をする際は、「本当に必要か」を考えた上で買いましょう。特に食品等の消費期限があるものは、期限内に食べきれないとな無駄になってしまい、ごみが増えてしまいます。

3. 生ごみは水切りや乾燥で減量できる (Reduce)

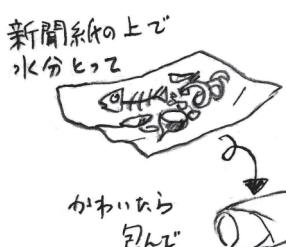
生ごみは約8割が水分とも言われています。廃棄物の中に水分が多く含まれていると、クリーンセンターでの燃焼効率の低下につながります。捨てる前にしっかり水切りをすれば、ごみの重量が減ってごみ出しが楽になり、臭いも抑えることができるなどのメリットがあります。裏面に生ごみ処理機器購入補助制度の説明があります。

水分を減らすポイント

1 生ごみを水に濡らさない

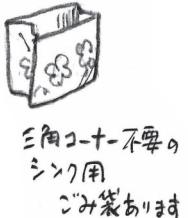
- ・三角コーナー等を蛇口から離れたところに置く。
- ・野菜や果物の皮を剥く際にシンクに落とさないようにする。

シンクの「ぬれたら」とこに置く



2 水分を絞る

三角コーナーにかぶせる水切りネット以外にも、さまざまな水切りグッズがあります。簡単で減量にも臭い対策にも大きな効果があります。



3 乾燥させる

乾燥は、水分を減らす最も効果的な方法。新聞紙の上に広げて天日干しにしたり風にあてるなどして乾燥させることで、水分を大幅に減らすことができます。

生ごみ処理機を使えば、場所をとらずに乾燥させることもできます。

4. プラスチック容器包装は ピンク色のごみ袋で出そう (Recycle)

最近はお店で食べるのではなくテイクアウトして家で食べる機会が増えたという方もおられるのではないでしょうか。持ち帰り用の容器はきちんと分別できていますか？

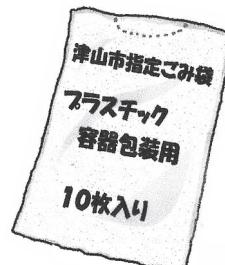
プラスチックの容器をそのまま「燃えるごみ」の袋に入れてしまうと、ごみの量が増え環境にも優しくありません。軽く洗って、ピンク色の袋に入れてリサイクルしましょう。

また、お惣菜のトレイ等は、スーパーに設置されている回収ボックスも積極的に利用しましょう。



ピンク色の指定袋に入れてよいもの

プラマークが付いたプラスチック製の容器・包装類です。詳しくは、指定ごみ袋の外装パックの裏面や市の“ごみの分別・出し方ガイドブック”をご覧ください。



指定ごみ袋が入っている外装パックの裏面に、入れてよいものの例が書いてあります。



- ▶ 汚れているものは 軽く水で洗う。
 - ▶ 洗剤・シャンプーボトルは 使い切った後 水ですすぐ。
 - ▶ サラダ油等のボトルは 一晩程度逆さまにしておいて中の油を出し切る。
- ※水で軽く洗っても汚れが取れないものは、燃えるごみに入れてください。

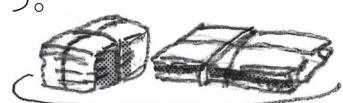
リサイクル 5. 古紙類・古布類はリサイクルしよう (Recycle)

紙ごみや布ごみは、可燃ごみの半分近くを占めています。古紙類・古布類をリサイクルすることは資源の節約にもつながり、ごみの減量にも大きな効果があります。市内には、町内会や子ども会等の団体が集団回収（廃品回収）を実施している地域があります。

また、古紙を回収しているスーパー・マーケットの店舗があるほか（回収品目はお店により異なります）、市役所の加茂支所、勝北支所、久米支所でも古紙類の回収をしています。

こうした回収を利用して、古紙類・古布類をリサイクルしましょう。

※各支所での古布類の回収は、令和2年6月以降休止しています。



ごみができるだけ出さない暮らしは 環境にもお財布にも優しい！

ごみが増えると焼却する量も増えるため、CO₂の排出量が増えます。

ごみを減らすことは、環境のためにとても大切なことです。

そして、ごみを減らすことは家庭にとっても良い面がたくさんあります。

- ・家にあるごみの占有面積が減る
- ・ごみ袋や粗大ごみの処理費用などの支出が減る
- ・ごみ出しの回数が減って、家事の負担が減る

ごみの処理には お金と労力がかかるものです。

家庭のためにも環境のためにも、ごみの削減について、しっかり考えていきましょう。



生ごみ処理機器購入補助制度について

市では、家庭から排出される生ごみの減量を目的に、生ごみ処理機器の購入を補助しています。生ごみの減量にぜひご協力ください。

令和2年度は、外出自粛等の影響で家庭で調理する機会が増えたためか、令和元年度に比べ多くの購入補助申請がありました。

令和2年度件数	令和元年度件数
コンポスト 113個	コンポスト 43個
ぼかし容器 17セット	ぼかし容器 6セット
電気式処理機 40台	電気式処理機 40台

令和3年度生ごみ処理機器購入補助

生ごみ処理容器	補助限度 (1世帯あたり)	補助金額
コンポスト (容量 130L) 庭や畠に置き、生ごみと土を交互に入れ堆肥にします。	2個以内	1個 2,600円
ぼかし処理容器 (容量 20L) 軒下などに置き、生ごみにぼかしをかけて堆肥にします。	2セット以内 (2個で1セット)	1セット 2,700円
生ごみ処理機	補助限度 (1住居あたり)	補助率
生ごみを温風で乾燥する乾燥式と、微生物が分解するバイオ式があります。	1台	購入金額の1/2 (上限3万円)

※補助には決まり（要件）があります。

- ・過去5年以内に同じ補助を受けていないこと。
- ・市税等に滞納がないこと。等

※必ず、購入前に電話で申し込みをしてください。

申請用紙をお送りいたします。

※予算の上限に達し次第、令和3年度の補助は終了します。

▶申し込み先

津山市環境事業課 3R推進係 TEL：32-2203



情報掲示板

▶ごみの分別・出し方の出前講座

市ではごみの正しい分別の仕方について、出前講座を行っています。

少人数でも、屋外でも簡単な講習会を開催しますので、お気軽にご相談ください。

ごみゼロ新聞へのご意見・
ご要望をお寄せください。

『津山市ごみゼロ新聞編集委員会』

津山市環境事業課3R推進係 Tel 32-2203 Fax 23-7055

E-mail:gomizer@city.tsuyama.lg.jp

